



ふれあい帖佐



令和7年7月1日

～帖佐校区まちづくりスローガン～

【ふれあいの心豊かな人づくり】

【思いやり和と輪の絆でまちづくり】

～会長挨拶～

日増しに気温も上がり夏の気配を感じさせるこの頃ですが、帖佐校区の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私も会長就任2年目に入りました。帖佐校区の2大伝統行事である『帖佐八幡神社浜下り』と『帖佐十九日馬踊り』も校区の皆様方のご協力により盛大に行うことができました。1年目の反省を踏まえた上で更なる校区の繁栄を目指して務めてまいります。

当協議会のスローガンであります【ふれあいの心豊かな人づくり】【思いやり和と輪の絆でまちづくり】をモットーに地域の活性化を目指しますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 中原浩二



副会長 吉田政明



事務局長 福谷純夫



書記・会計 八牟礼みどり



■令和7年度 帖佐校区まちづくり活性化プラン「重点施策」

部 門	重 点 施 策	部長コメント	部長	副部長
総務部	・八幡神社浜下り、十九日馬踊りの継承・活性化 ・各地域伝統行事や祭り等の活性化と地域間交流の推進 ・文化財、史跡等の積極的案内、保護活動 ・各地域及び校区の自主防災計画・組織の整備	重点施策に基づき活動をしていきます。皆様のご協力をよろしくお願いします。	岩爪 隆 	川崎栄一
青少年育成部	・登下校の見守り活動の推進（通学路危険個所の改善対策、子ども駆け込み110番の協力依頼など） ・青少年育成活動の推進（各種地域行事への参加など） ・地域・学校協働活動の取り組み（SSVC+事業の推進）	子ども達が一つでも多くの体験をし、楽しい思い出ができるよう協力していきます。	山崎清文 	新穂俊和
健康増進部	・各種競技会の活性化（市大会への予選会参加） ・健康長寿への取り組み（食生活の改善、健康管理等講演会への積極的な参加）	生涯スポーツの観点から市大会出場に向け各種競技会を開催します。ご協力をよろしくお願いします。	上野博章 	佐藤睦子
地域福祉部	・ふれあいいきいきサロンの充実（交流会、研修会など） ・高齢者の健康増進（健康体操の普及、食生活改善など） ・福祉活動の充実（高齢者見守り活動、あいさつ運動、街頭募金活動など）	2年目ですので副部長と共に地域の高齢者の方々に喜んでもらえる活動をしていきます。	吉野えつこ 	福留 修

帖佐校区コミュニティ協議会は、帖佐小校区の16自治会で組織している団体です。「共に助け合い、みんなでつくる活力ある地域コミュニティ」づくりを目指し、16自治会が協力して地域活動を行っています。
その活動の一部をご紹介します。

校区コミュニティ協議会のイメージ



(始良市ホームページより)

帖佐八幡神社浜下り (始良市指定無形民俗文化財)

例年、11月の第1日曜日に実施しています。帖佐八幡神社で例祭を行ってから、総勢約130名の武者行列が稲荷神社境内から松原たいこ公園を經由して松原の御門（みかど）神社まで巡行します。

今年度は、令和7年11月2日（日）を予定しています。



浜下りは、鎌倉時代に平山了清（ひらやまりょうせい）が京都から一族を引き連れて松原の御門（みかど）神社に上陸し、別府川をさかのぼり、八幡神社の地にお城を築き、帖佐の郷を形作った功績を称えと共に当時の苦勞を偲ぶため、松原海岸まで巡行した御神幸祭（ごしんこうさい）が由来となっています。時代と共に途絶えたり復興したりを繰り返しましたが、平成12年に現在の形で復活しています。平成19年には市の指定無形文化財に登録されています。また、令和4年に松原なぎさコミュニティ協議会と「子どもスマイル交流事業連携協定」を締結し、松原なぎさ小学校の子ども達も途中から巡行に参加しています。

帖佐十九日馬踊り (始良市指定無形民俗文化財)

例年、隼人の初午祭（はつうまさい）の次の日曜日に稲荷神社境内で実施しています。令和5年度は再興25周年記念事業として帖佐小でも実施しました。鹿児島神宮でお祓いを受けた御神馬（ごしんめ）が華麗に踊る姿は見ごたえがあります。

今年度は、令和8年3月15日（日）を予定しています。



馬踊りは、隼人の初午祭でお祓いを受けた御神馬（ごしんめ）が、亀泉院（きせんいん）にある島津義弘公の愛馬・膝跪驛（ひざつきくりげ）のお墓に詣でるため、校区内を踊り歩いてご祝儀を貰って回る行事が由来となっています。昭和55年までは住民総出の賑わいでしたが、その後20年近く途絶えました。平成12年に現在の形で復活しています。平成25年には市の指定無形文化財に登録されています。

各自治会の特色や取り組みをご紹介します。今回は、16自治会のうち8自治会をご紹介します、残り8自治会は次回号でご紹介いたします。

校区内の各自治会は、地勢や歴史など取り巻く環境がそれぞれ違うことから、抱える課題も、また規模や住民の生活スタイルもそれぞれ違いますが、地域住民が安心して安全にかつ快適に暮らせるよう活動しています。

豊留自治会 (会長 米松勝利)

世帯数：54世帯

特 色：西側に山田川があり周囲を田園に囲まれた静かで住みやすい地域です。多くの会員が参加する地域清掃活動や六月灯、田の神祭りは住民の交流や親睦を深める場となっています。これからもこうした活動を続け、互いに助け合う運営をしていきたいです。

深水自治会 (会長 松ヶ野義治)

世帯数：17世帯

特 色：小さな自治会ですが、まとまりがよく、会員総出で清掃活動をしたり、12月には田の神講祭りや産土（うぶすな）神社祭を開催しています。高齢化が進み、子どもが一人もいないのが悩みです。

三拾町自治会 (会長 福留 修)

世帯数：80世帯

特 色：公民館の周囲や花壇に季節の花を植え花いっぱい運動を展開しています。粗大ごみを搬出する時に近所の方が手伝うなど、共助の精神が根付いている住みやすい地域です。最近は子どもの数が増えてきており、十五夜の綱引き大会は賑わっています。

上麓自治会 (会長 内山義昭)

世帯数：104世帯

特 色：親子会を中心に六月灯や十五夜祭などを実施し、地域の活性化に努めています。また、夏休みには子どもたちが保護者とともに公民館清掃も行っており、青壮年部も年2回別府川堤防の草払いも行っています。まとまりのある自治会です。

水流寺自治会 (会長 上野博章)

世帯数：63世帯

特 色：小さな自治会ですが、近年若い世代が新築したり転入してきたりして世帯数は増加傾向にあります。活動も子ども会を中心に活発化してきています。また月2回「自治会だより」を発行し情報発信にも務めています。今年度は無線放送設備を導入します。

岩崎自治会 (会長 吉野えつこ)

世帯数：57世帯

特 色：かつて島津義弘公に仕えた武士が多く住んでいた由緒ある地域で、小学校も近く環境的にはいい所です。以前は子ども達も多く賑やかでしたが、最近は過疎化と高齢化が進んでいます。地域の真ん中を県道が通っており、交通量が多いのが悩みです。

仮屋自治会 (会長 川崎信男)

世帯数：19世帯

特 色：高校生以下の子供がいる世帯は3世帯だけで、あとは70歳以上の高齢者世帯で構成する小さな自治会です。年1回ですがペタンク大会、グラウンドゴルフ大会を実施し健康増進活動に務めています。空き家と過疎化が進んでいる自治会です。

宇都自治会 (会長 岩爪 隆)

世帯数：114世帯

特 色：稻荷神社を中心に多くの史跡や文化財が点在する由緒ある地域で、中規模の自治会です。新年早々に実施する「宇都鬼火焚」は自治会最大のイベントで、地域内外から多くの人が集まります。今後ともこうした伝統行事を継承していきたいです。

今年度の自治会長とコミュニティ協議会の役員及び専門項目指導者・推進者です。どうぞよろしくお願いします。

自治会長

No.	自治会名	氏 名
1	豊 留 自 治 会	米 松 勝 利
2	深 水 自 治 会	松 ケ 野 義 治
3	三 拾 町 自 治 会	福 留 修
4	上 麓 自 治 会	内 山 義 昭
5	水 流 寺 自 治 会	上 野 博 章
6	岩 崎 自 治 会	吉 野 え つ こ
7	仮 屋 自 治 会	川 崎 信 男
8	宇 都 自 治 会	岩 爪 隆
9	納 屋 町 自 治 会	新 穂 俊 和
10	鍋 倉 自 治 会	佐 藤 睦 子
11	高 樋 自 治 会	川 崎 栄 一
12	上 場 自 治 会	中 原 浩 二
13	青 葉 台 自 治 会	福 谷 純 夫
14	朝 日 ケ 丘 自 治 会	山 崎 清 文
15	上 場 団 地 自 治 会	大 城 美 由 紀
16	み さ と 台 自 治 会	吉 田 政 明

帖佐校区コミュニティ協議会

役 職 名	氏 名
会 長	中 原 浩 二
副 会 長	吉 田 政 明
事 務 局 長	福 谷 純 夫
会 計	八 牟 礼 み ど り
総 務 部 長	岩 爪 隆
〃 副 部 長	川 崎 栄 一
青 少 年 育 成 部 長	山 崎 清 文
〃 副 部 長	新 穂 俊 和
地 域 福 祉 部 長	吉 野 え つ こ
〃 副 部 長	福 留 修
健 康 増 進 部 長	上 野 博 章
監 事	内 山 義 昭
監 事	川 崎 信 男

専門項目 指導者・推進者

専門項目	氏 名
S S V C コーディネーター	福 迫 薩 美
交 通 安 全 対 策 推 進 員	新 穂 俊 和
健康づくりコーディネーター	小 川 洋 子
〃	磯 崎 可 可 子

専門項目	氏 名
ス ポ ー ツ 推 進 員	西 良 隆
〃	佐 藤 睦 子
〃	八 牟 礼 み ど り

S S V C + (school support volunteer coordinator plus) : 地域と学校が連携して進める青少年育成&地域づくり活動

帖佐校区コミュニティ協議会へ50万円の寄付を頂きました！

納屋町自治会 八牟礼みどり様から帖佐校区コミュニティ協議会へ50万円の寄付を頂きました。贈呈式は6月13日に帖佐地区公民館で行われ、八牟礼みどり様から「校区のために役立てて」と目録を渡され、中原会長から「思いをしっかりと受け取り、大事に使わせていただきます。」と感謝の意をお伝えしました。



～編集後記～

本年度初めての協議会便りをお届けします。
年2回の発行を予定しています。
広報誌編集にあたり、地域のイベントや、珍しいニュース・出来事など投稿をお願いします。また、一般の方々の広報依頼も受け付けます。

編集委員 中原浩二・吉田政明・福谷純夫
岩爪 隆・川崎栄一・八牟礼みどり

事務局だより

帖佐校区コミュニティ協議会の事務局は
帖佐地区公民館内にあります。

開設日時 毎週 月・水・金 9時～17時
職 員 コミュニティ協議会支援員 八牟礼みどり
電 話 0995-73-7584
F A X 0995-73-7590
※お気軽にお立ち寄りください。